

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 香川県

### ●地域における現状・課題

香川県の中学校生徒数は、この20年間でおよそ6,000人現状しており、今後も減少傾向は継続し、令和11年度にはさらに2,000人減少することが予想される。また、運動部活動に所属する生徒数も減少しているが、運動部活動数はほとんど変わらなかった。そのため、学校単位での活動が難しい学校が、県内の多くの地域で見られるようになってきている。

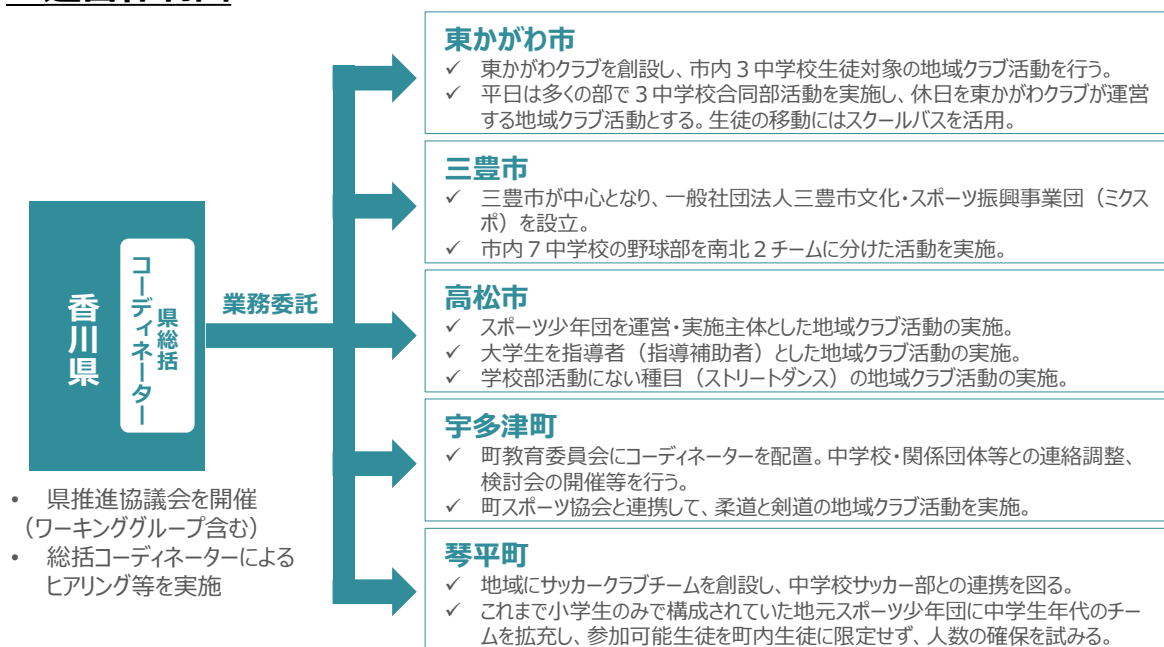
### ●取組事項の概要

- ✓ 香川県中学校部活動地域移行等推進協議会（定例会及びワーキンググループ）の開催
- ✓ 香川県中学校部活動地域移行等総括コーディネーターによる県の取組みの推進、関係団体や各市町との連携・調整及び助言
- ✓ 香川県地域クラブ活動等指導者人材バンクの設置（運用は令和6年4月予定）

### ●取組の成果、特に工夫した点等

香川県内各市町における地域移行等の課題及び今後の進め方、課題に対する具体的方策等の共有を図ることができた。

### ●運営体制図



### <行政組織内での役割分担>

	課	役割
教育委員会	保健体育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;学校・体育グループ&gt;</li> <li>✓ 運動部活動改革全般に関すること</li> <li>✓ スポーツ庁実証事業に関すること</li> <li>✓ 県協議会の運営等に関すること</li> <li>✓ 指導者人材バンクに関すること</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;スポーツグループ&gt;</li> <li>✓ 香川県スポーツ協会との連携</li> <li>✓ 県内の総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ少年団等との連携</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 生涯学習・文化財課</li> <li>✓ 文化庁活動改革全般に関すること</li> <li>✓ 県協議会の運営等に関すること</li> </ul>
	義務教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 教員の服務、兼職兼業等に関すること</li> </ul>
首長部局	交流推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 県内プロスポーツチームとの連携</li> </ul>
	文化振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域の文化芸術活動に関すること</li> </ul>

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 香川県東かがわ市

### ●地域における現状・課題

東かがわ市立3中学校の生徒数は、あわせて約540名（令和5年度4月現在）である。この5年間で約130人、小学校とあわせると220人余り減少しており、将来的に生徒数は減少し続ける見込みである。在籍生徒数の最も多い大川中学校（全校生徒約260人）と最も少ない引田中学校（全校生徒約110人）では、選択できる部活動の差は引田中学校の方が大川中学校より8少ない。

### ●取組事項の概要

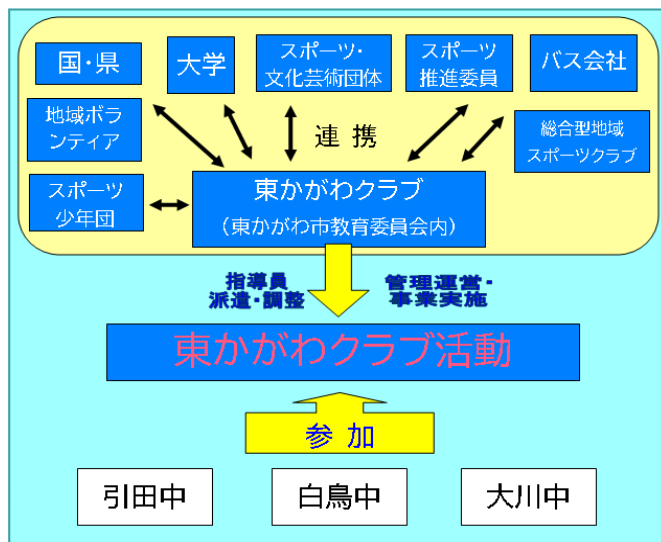
学校部活動が培ってきた教育的意義や役割を継承発展させ、新しい価値を創出するとともに、学校、保護者、地域が連携のもと、スポーツ・文化芸術活動による教育的機能を高めるため、教育委員会内に市内3中学校すべての部活動の受け皿となる「東かがわクラブ」を設置する。「東かがわクラブ」では、3中学校の生徒が合同で活動することにより、生徒数が減少した状態でも、生徒にスポーツ・文化活動に関わることができる環境を保障する。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

総括コーディネーターとして、元中学校校長を採用することで、市内小中学校との連携を効果的に行うことができた。在職時に地区中体連の会長として活動していた経験も、実務者間の連絡調整時にとっても効果的であった。

総括コーディネーターを東かがわクラブ会長、中学校長を副会長、指導主事を事務局長とすることで、学校と連携しながら、部活動の地域移行を段階的に行うことができています。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型
- (2) 運営主体：東かがわクラブ
- (3) 種目：軟式野球、男子バレーボール、剣道
- (4) 指導者の主な属性：市内小中学校教職員、部活動指導員、地域指導員、大学生
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：土・日・祝日 月4回程度
- (6) 主な活動場所：市内小中学校
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車、スクールバス有効活用
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：8400円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1850円

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 香川県三豊市

### ●地域における現状・課題

三豊市内には7つの中学校があるが、生徒数の少ない学校では既に1～3年生で100人を下回っている。人口に比して学校数が多く、また近隣学校との距離も平均して6.5km以上あるため、学校同士の合同部活動の実施も困難である。

また近年の人口動態によれば、令和9年頃から生徒数は急激に減少する見込みとなっているため、早急に部活動の在り方を検討しなければならない。

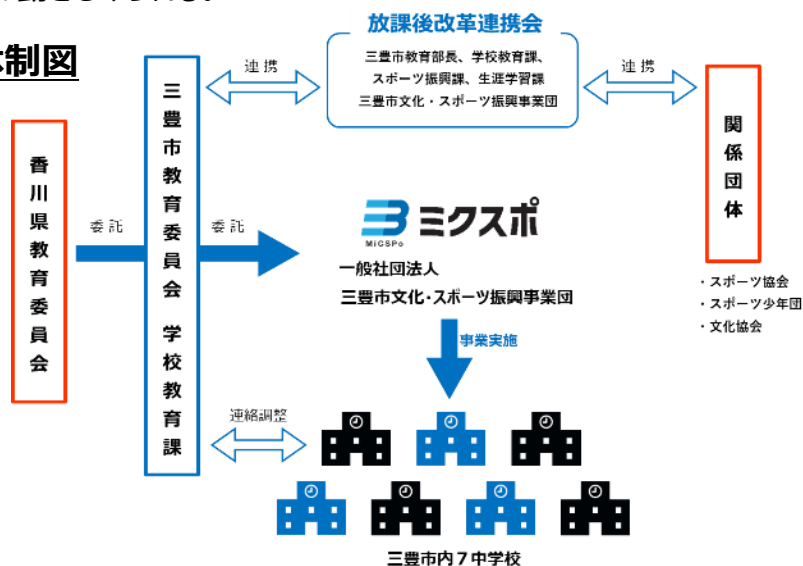
### ●取組事項の概要

市内7中学校の野球部を南北2チームに分け、合同チーム練習を実施した。今年度は地域クラブチームの設立まではいかないものの、次年度以降の地域移行にむけたプレ活動とした。学校との協議の結果、活動開始は新人戦（11月中旬）以降にしてほしいとの意見が大多数であったため、活動時期は12月初旬からとした。また、活動終了後は参加者アンケートを実施した。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

三豊市が中心となり、地域文化・スポーツ活動の振興と部活動地域移行（放課後改革）を目的とした法人として、一般社団法人三豊市文化・スポーツ振興事業団（ミクスポ）を設立し、行政主体では困難なスピード感を持った改革や、地域移行にあたって必須である民間企業・クラブとの密接な連携を実現した。事業実施においては、参加生徒および保護者に部活動の地域移行した場合の雰囲気を経験してもらうことで、現在地域において、野球部の地域クラブ化の動きもみられる。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：その他（その他の類型）
- (2) 運営主体：一般社団法人三豊市文化・スポーツ振興事業団
- (3) 種目：野球
- (4) 指導者の主な属性：地域指導者（三豊市スポーツ指導員人材バンク登録者）
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回
- (6) 主な活動場所：市内社会体育施設
- (7) 主な移動手段：原則自力移動（自転車、保護者送迎）  
平日（冬季休み中）のみ送迎サービス実施
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒・指導者1人あたり24.9円/回

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 香川県高松市

### ●地域における現状・課題

- ・高松市における運動部活動の現状は、平均すると1校当たり17～18の部活動が設置されている状況であり、生徒数が減少している近年では、団体競技の大会参加が困難となってきた学校も増えてきた。10月に実施した部活動等に関するアンケート調査の結果からは、部活動指導に負担を感じている教職員の割合は約60%であった。
- ・地域移行に対する主な課題は、①設置部活動数の多さ、②地域指導者の不足、③受け皿の不足の3点であり、地域移行には一定の期間が必要であると考えている。

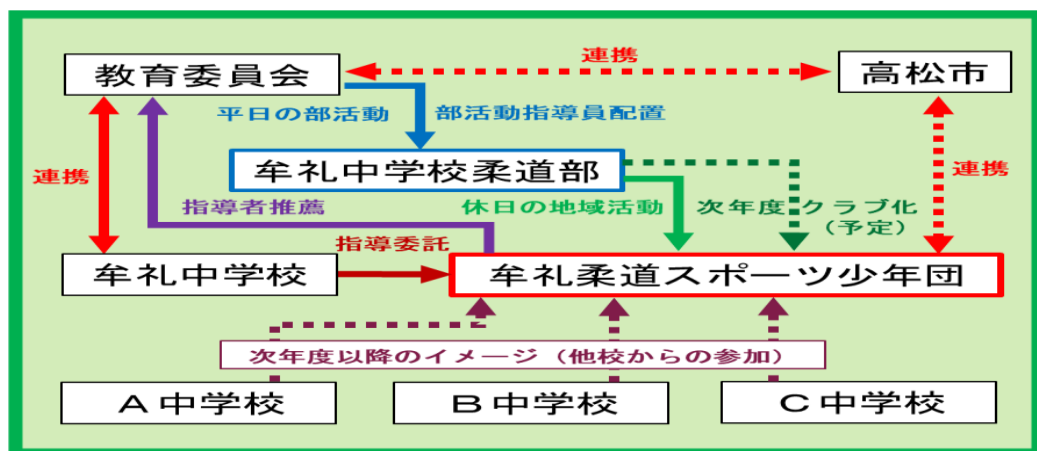
### ●取組事項の概要

- ・学校部活動を地域へと移行していく方策について、以下の3事例をモデルとして検証していった。
- ①既存団体活用モデル（柔道で実施）……… 地元のスポーツ少年団を受け皿として、指導者・活動場所・学校との連携等について検証した。
- ②地域人材活用モデル（軟式野球で実施）…… 地域人材確保の方策の一つとして、大学生の活用を検証した。
- ③市主催モデル（ストリートダンスで実施）……… 新しい受け皿を確保する方策の一つとして、各学校の希望者を対象としたモデル活動として検証した。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- ・上記①については、平日の部活動と休日の活動での指導者が違った場合、指導方針のズレ等が生じないよう、受け皿団体から複数人の指導者派遣を依頼した。
- ・上記②については、主たる指導者としての配置ではなく、指導補助者としての従事であったが、学生が参加することにより、教職員の従事を軽減することができた。
- ・上記③については、参加者の人数によって、使用する施設を変更する必要性があったが、市が所管する施設を活用して実施したため、使用料が減免されたことは大きかった。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：民間スポーツ事業者運営型
- (2) 運営主体：牟礼柔道スポーツ少年団
- (3) 種目：柔道
- (4) 指導者の主な属性：休日：地域指導者、平日：部活動指導員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：20回程度/月
- (6) 主な活動場所：学校の体育施設（武道場）
- (7) 主な移動手段：徒歩及び自転車（遠征等は保護者送迎）
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：約40,000円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,850円

※上記概要は、R5年度の実証事業を活用した本市のモデル事業として検証した内容である。したがって、活動回数においては、平日の学校部活動の活動も含めた回数となっていることを補足しておきます。

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 香川県宇多津町

### ●地域における現状・課題

- ・町内1公立中学校である。生徒数は徐々に減少傾向にあり、生徒数に対する部活動数が多く、競技・指導経験のない種目の顧問も多い状況である。
- ・個人競技の入部希望者が多く、部活動よりは、家庭の時間を優先する傾向もある。
- ・今後、現状の部活動を維持・継続していくことは困難と予想される。

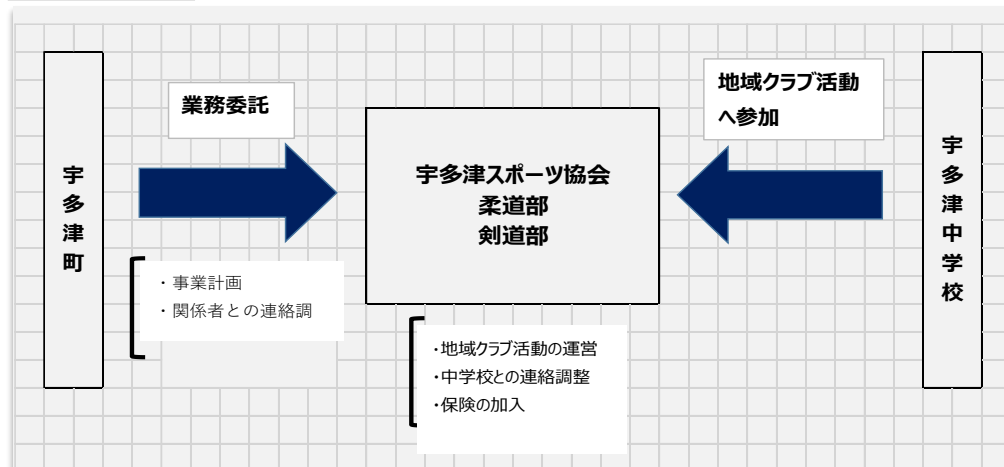
### ●取組事項の概要

- ・町教育委員会にコーディネーターを配置して、中学校・関係団体等との連絡調整、検討会の開催等を行う。
- ・町スポーツ協会と連携して、先行的に柔道部・剣道部から休日の部活動地域移行を行い、他競技の実施に向けて課題等を検討する。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- ・小学生の頃から町スポーツ協会の活動に参加している生徒が多い柔道部・剣道部で部活動の地域移行の実証事業を行ったことで、地域移行の土台ができており、平日の中学校部活動と休日の連携がスムーズに行えた。
- ・生徒アンケートを行い、子どもたちの気持ちを確認した。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型（体育・スポーツ協会運営型）
- (2) 運営主体：宇多津スポーツ協会 柔道部・剣道部
- (3) 種目：柔道、剣道
- (4) 指導者の主な属性：宇多津スポーツ協会
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：柔道部：1.3回・剣道部：2.3回
- (6) 主な活動場所：デュアル・スポーツセンター（柔道場・剣道場）
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：無料
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 香川県琴平町

### ●地域における現状・課題

- ・ 町内には1校の中学校がある。人口減や少子化の影響を受け、平成の始めには全校生徒数が600人程度であったが、今は160人ほどに減っている。団体競技では人数が揃わない状態で試合に参加したり、大会に参加できずに部活動を終える生徒もいる。町内にはスポーツ少年団がいくつかあり、小学生時代はそのスポーツに取り組むことができるが、他市町の中学校に進学する者もあり、部活動環境の悪化が進んでいる。

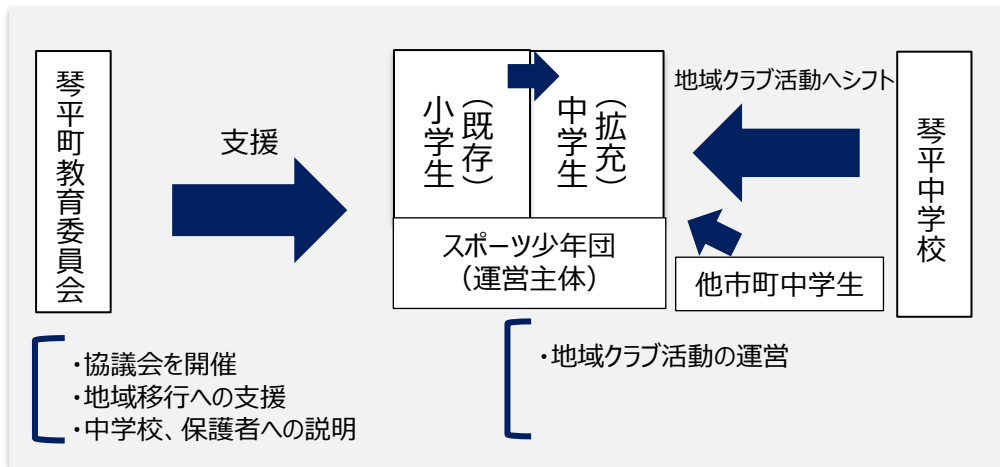
### ●取組事項の概要

- ・ サッカー部において、地域のサッカークラブチームを立ち上げ、中学校に在籍する部員をシフトする。新チームはこれまで小学生で構成されていた地元スポーツ少年団に中学生年代のチームを拡充する。参加可能生徒が町内生徒に限らず、他市町からの参加も可能になることで、人数の確保を試みる。
- ・ 町として主にサッカークラブの立ち上げまでを支援し、立ち上げ後は運営をクラブに任せられるようにする。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- ・ 新チームの指導者には中学校部活動指導の補助をもらい、移行に向けて関係づくりを行った。また、スポーツ少年団（小学生年代）の指導者でもあり、小学校から中学校への引継ぎがスムーズにできるようにした。
- ・ 3年生は夏が最後の大会になるため、移行をしても、次年度夏までは現任部活動顧問が主で指揮をとり、代替わりのタイミングで新コーチに引き継ぐようにした。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型
- (2) 運営主体：スポーツ少年団
- (3) 種目：サッカー
- (4) 指導者の主な属性：スポーツ少年団コーチ
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回程度
- (6) 主な活動場所：中学校グラウンド 及び 総合スポーツ施設グラウンド
- (7) 主な移動手段：自転車
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年（移行期間中）
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1850円